

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-102087

(43)Date of publication of application : 09.04.2002

(51)Int.Cl.

A47J 47/00

A47J 47/18

C08J 5/00

C08K 5/00

C08L101/00

(21)Application number : 2000-299256 (71)Applicant : SEKISUI CHEM CO LTD

(22)Date of filing : 29.09.2000 (72)Inventor : MURAKAMI HITOSHI

(54) FORMED ARTICLES FOR KITCHEN

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide formed articles for kitchen, which are hardly contaminated by bacteria, furring and molds, even in an environment of where humidity is high and easy the residue of food materials are around in the vicinity of the sink of a washstand.

SOLUTION: Raw material resins are mixed with antibacterial agents, fungicide, water repellent and antistatic agents.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against
examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-102087

(P2002-102087A)

(43) 公開日 平成14年4月9日 (2002.4.9)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テロート [*] (参考)
A 4 7 J 47/00		A 4 7 J 47/00	Z 4 B 0 6 6
47/18		47/18	A 4 F 0 7 1
C 0 8 J 5/00	C E S	C 0 8 J 5/00	C E S 4 J 0 0 2
C 0 8 K 5/00		C 0 8 K 5/00	
C 0 8 L 101/00		C 0 8 L 101/00	
審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 3 頁)			

(21) 出願番号 特願2000-299256(P2000-299256)

(22) 出願日 平成12年9月29日 (2000.9.29)

(71) 出願人 000002174

積水化学工業株式会社

大阪府大阪市北区西天満2丁目4番4号

(72) 発明者 村上 仁

奈良市三条大路4-1-1 積水化学工業株式会社内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 台所用成形品

(57) 【要約】

【課題】 流し台のシンク周辺のような多湿で食材の残滓に触れ易い環境に於いても、細菌、水垢、黴によって汚染され難い台所用成形品を提供する。

【解決手段】 原料樹脂に抗菌剤、防黴剤、撥水剤、帯電防止剤が配合されている。

【特許請求の範囲】

【請求項1】 原料樹脂に抗菌剤、防霉剤、撥水剤、帯電防止剤が配合されていることを特徴とする台所用成形品。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は流し台のシンク周辺のような水回りで使用される台所用成形品に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、流し台のシンク周辺のような水回りで使用される洗い桶等の台所用成形品としては、ポリプロピレン（PP）を射出成形したものを使用されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、このような台所用成形品は、流し台のシンク周辺のような多湿で食材の残滓に触れ易い環境に於いては、大腸菌等の細菌、水垢、黒黴菌等の菌が付着して、汚染され易いという問題があった。

【0004】 本発明は、上記従来の問題点を解消し、流し台のシンク周辺のような多湿で食材の残滓に触れ易い環境に於いても、細菌、水垢、黴によって汚染され難い台所用成形品を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明の台所用成形品は、原料樹脂に抗菌剤、防霉剤、撥水剤、帯電防止剤が配合されていることを特徴とする。

【0006】 本発明の台所用成形品としては、流し台のシンク周辺のような水回りで使用されるものであれば、特に限定されず、例えば、洗い桶、水切り籠、調理用ざる、調理用バット、調理用ボウル、石鹸入れ、たわし入れ等が挙げられる。

【0007】 本発明の台所用成形品に於いて、原料樹脂は、特に限定されず、酸性乃至塩基性洗剤の何れに対しても高耐久性を有する非極性のPPもしくは高密度ポリエチレン（HDPE）等のオレフィン系樹脂が好適に用いられる。

【0008】 本発明の台所用成形品に於いて、原料樹脂に配合される抗菌剤は、特に限定されず、金属イオンを生ずる銀、銅、亜鉛、ニッケル、鉛等の金属を有機シリコン、ゼオライト、シリカゲル、シリカ/アルミナ、ガラス等の無機担持体に担持させたものが挙げられる。抗菌剤の配合量は、0.1～1.0重量%とされるのが好ましい。

【0009】 本発明の台所用成形品に於いて、原料樹脂に配合される防霉剤は、特に限定されず、例えば、アルコール系防霉剤、フェノール系防霉剤、沃素系防霉剤、イソチアゾリン系防霉剤、トリアゾール系防霉剤、有機金属系防霉剤等が挙げられる。防霉剤の配合量は、0.1～1.0重量%とされるのが好ましい。

【0010】 本発明の台所用成形品に於いて、原料樹脂に配合される撥水剤は、特に限定されず、例えば、反応性ポリオルガノシロキサンをグラフト重合させたシリコン系液状撥水剤、分子内にパーフルオロアルキル基もしくはフルオロアルキル基を有する弗素系撥水剤等が挙げられる。撥水剤の配合量は、0.1～1.0重量%とされるのが好ましい。

【0011】 本発明の台所用成形品に於いて、原料樹脂に配合される帯電防止剤は、特に限定されず、例えば、グリセリン脂肪酸エステル、ポリ（オキシエチレン）アルキルエーテル、N、N-ビス（2-ヒドロキシエチル）アルキルアミン、ポリ（オキシエチレン）アルキルアミン、ポリ（オキシエチレン）ジアミン等の低分子型帯電防止剤、ポリエチレンオキサイド、ポリエーテルエステルアミド、4級アンモニウム塩、ポリエーテルアミドイミド、ポリエーテル・ポリオレフィンブロックポリマー等の高分子型帯電防止剤等が挙げられる。帯電防止剤の配合量は、0.1～0.5重量%とされるのが好ましい。

【0012】

【発明の実施の形態】 以下、本発明の台所用成形品を実施例に基づいて詳細に説明するが、本発明は実施例に限定されるものではない。

【0013】 銀をガラス担持体に担持させた無機系抗菌剤0.6重量%、シリコン系撥水剤0.6重量%、帯電防止剤であるN、N-ビス（2-ヒドロキシエチル）アルキルアミン0.3重量%を練り込み配合したPPを用いて、射出成形法により洗い桶を得た。

【0014】 この洗い桶は、流し台のシンク周辺のような多湿で食材の残滓に触れ易い環境に於いても、細菌の発生、水垢の付着、黴の発育、塵埃の付着が抑止され、従来品に比して顕著な防汚効果が認められた。

【0015】

【発明の効果】 本発明の台所用成形品は、叙上の通り構成されているので、流し台のシンク周辺のような多湿で食材の残滓に触れ易い環境に於いても、細菌、水垢、黴によって汚染され難い。

フロントページの続き

Fターム(参考) 4B066 DD54 DD90
4F071 AA20 AA67 AB06 AC12 AC13
AE16 AE22 AF04 AF37 AF52
AH05 AH19 BA01 BB05 BC07
4J002 BB031 BB121 CH023 CH053
CP172 DA076 DA086 DA106
EC007 EH049 EJ017 EN029
EN139 EV167 EV327 EZ007
FB296 FD103 FD109 FD186
FD187 FD202 FD208 GC00
GL00